

みんなの財政のミカタ

令和元年度
予算版

仙台市の財政を分かりやすく説明します



令和元年6月
仙台市

Part1.予算解説編では、仙台市の令和元年度予算についてお知らせします。
予算は、1年間の市の収入や支出の見積もりです。

目次

1.	令和元年度予算額	1
	仙台市全体の予算額は？「3つのお財布」ってなに？	
2.	歳入	2
	仙台市の1年間の収入はどうなっているの？	
3.	歳出	3
	支出の「2つの見方」ってどういうこと？	
4.	仙台市の財政状況	5
	仙台市の財政状況ってどうなの？	
5.	財政見通しと行財政改革	7
	これからの仙台市の財政はどうなるの？	
※	コラム：令和元年度予算を家計に例えると？	10

Part2. 資料編

1.	令和元年度特別会計の主な事業計画	12
2.	令和元年度企業会計の主な事業計画	14
3.	平成30年度末現在の財政状況（平成31年3月31日現在）	
	(1) 予算の執行状況（一般会計・特別会計・企業会計）	17
	(2) 市債、市有財産、基金などの状況	19

編集・発行
仙台市財政局財政部財政企画課

仙台市青葉区国分町三丁目7-1
電話 022 (214) 8111
FAX 022 (262) 6709
E-MAIL zai003005@city.sendai.jp

1. 令和元年度予算額

仙台市全体の予算額は？「3つのお財布」ってなに？

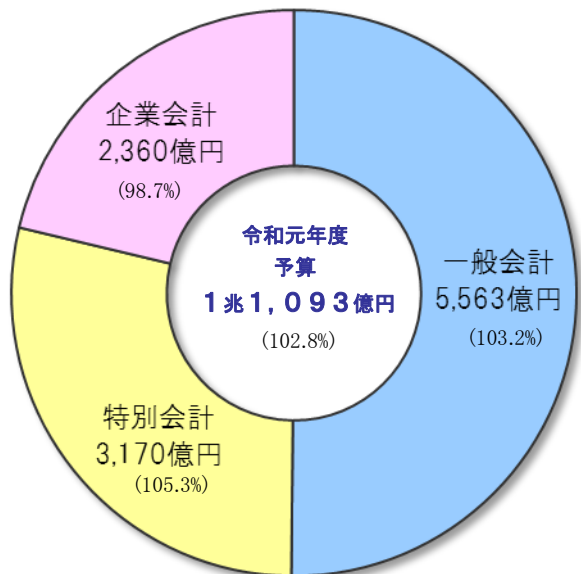
令和元年度の1年間に、仙台市全体でどれほどのお金が使われる予定なのか見てみましょう。

令和元年度仙台市予算の総額		
1兆1,093億円		
一般会計	特別会計	企業会計
5,563億円	3,170億円	2,360億円
福祉や教育、道路整備など市の基本的な事業を行う会計です。収入は市税を主な財源としています。	特定の収入があるため、一般会計とは区別する必要がある会計です。仙台市には、国民健康保険や介護保険など10会計があります。	それぞれの事業の収益でまかなわれている会計です。仙台市には、下水道・バス・地下鉄・水道・ガス・病院の6会計があります。

「会計」とは、家庭における「お財布」にあたるものです。

収入をどの事業に使っているのかを分かりやすくするために、お財布（会計）を一般会計・特別会計・企業会計の3つに分けています。

「みんなの財政のミカタ」では、次のページから主に「一般会計」について説明をしていきます。特別会計・企業会計については、「Part2. 資料編」をご覧ください。



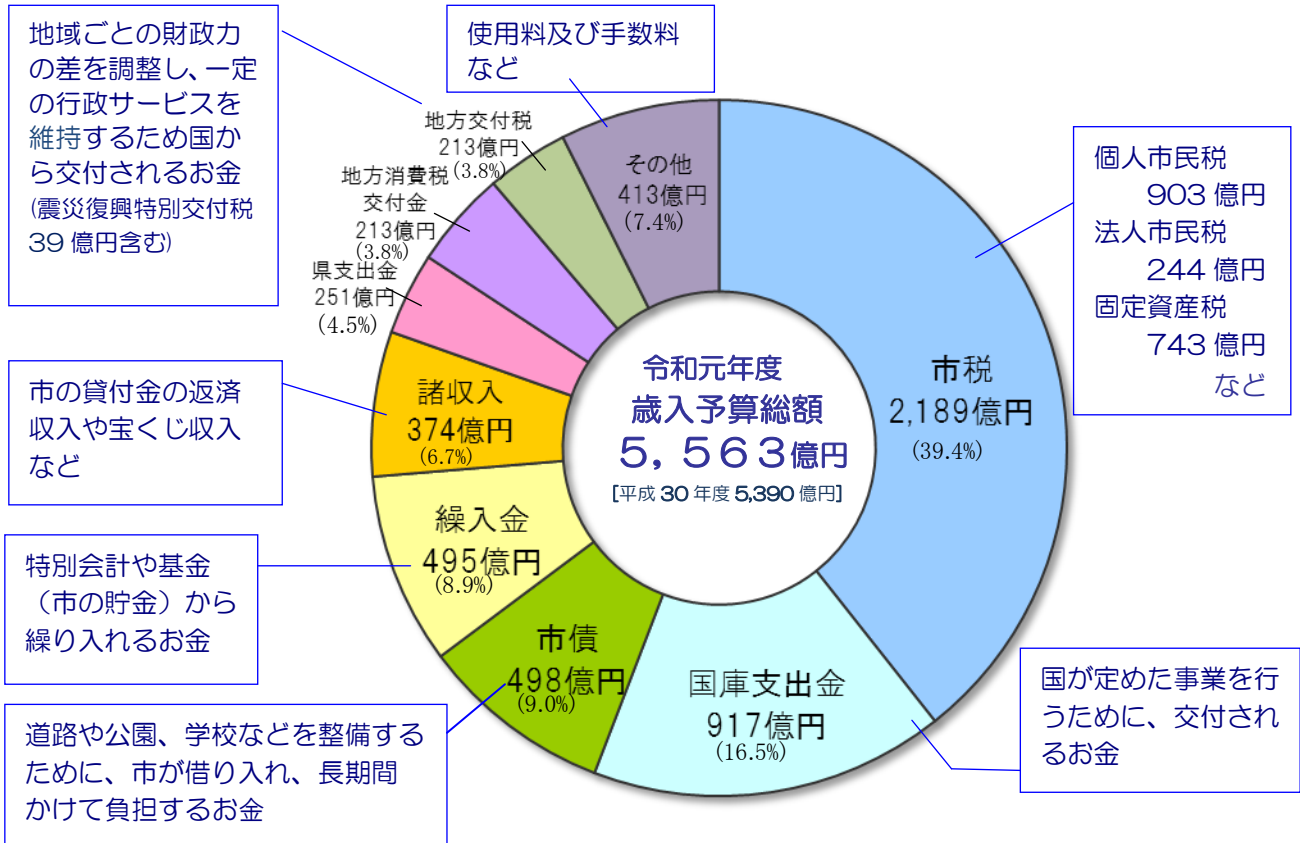
※()内=対前年度比

2. 歳入

仙台市の1年間の収入はどうなっているの？

市の1年間の収入である歳入について説明します。

()は構成比



令和元年度歳入の特徴は？

市税

市民税及び固定資産税の増加により、前年度から76億円増加しています。
[H30年度 2,113億円]

国庫支出金

幼児教育無償化制度関連や低所得者・子育て世帯向けプレミアム付商品券発行に係る補助金などにより、前年度から65億円増加しています。
[H30年度 852億円]

諸収入

低所得者・子育て世帯向けプレミアム付商品券販売収入などにより、前年度から58億円増加しています。[H30年度 316億円]



市税とは

市の行政サービスにかかる費用を、できる限り多くの市民に分担していただくという性格の「市民税」や、市内に土地や家屋などを持っている方に、その価格をもとに算定された金額を納めていただく「固定資産税」などの税金のことです。また「市民税」には、給与収入などに応じて個人の方に納めていただく「個人市民税」と、市内の会社に納めていただく「法人市民税」があります。

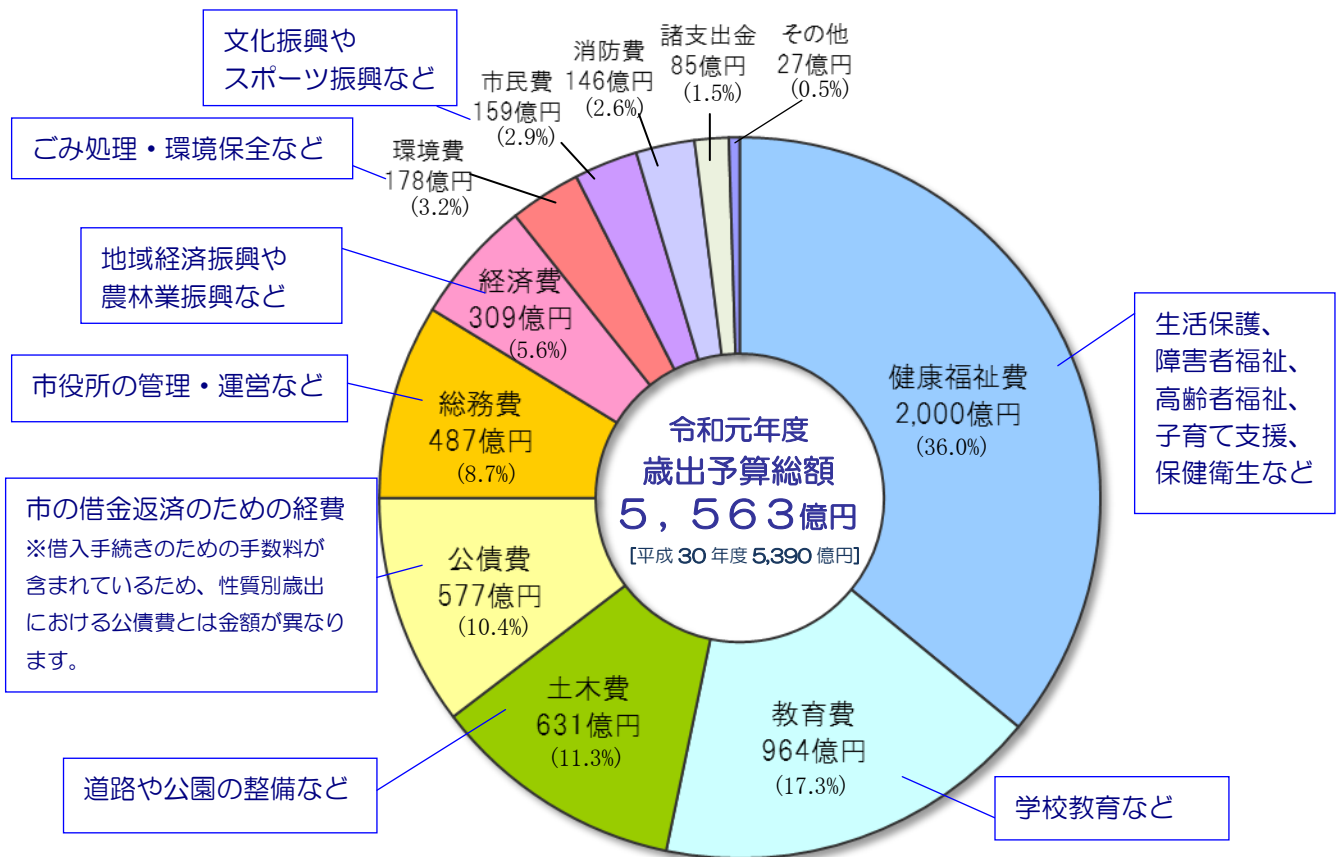
3. 歳出

支出の「2つの見方」ってどういうこと？

令和元年度の歳出予算額は前年度から 173 億円増加し、5,563 億円となりました。歳出は、福祉、教育など行政サービスの目的で分類した「目的別歳出」と、扶助費、人件費など、経費の性質で分類した「性質別歳出」の、「2つの見方」をすることができます。

目的別歳出

() は構成比



令和元年度歳出の特徴と主な事業は？

総務費

市庁舎整備基金の積立などにより、前年度から 153 億円増加しています。 [H30 年度 334 億円]

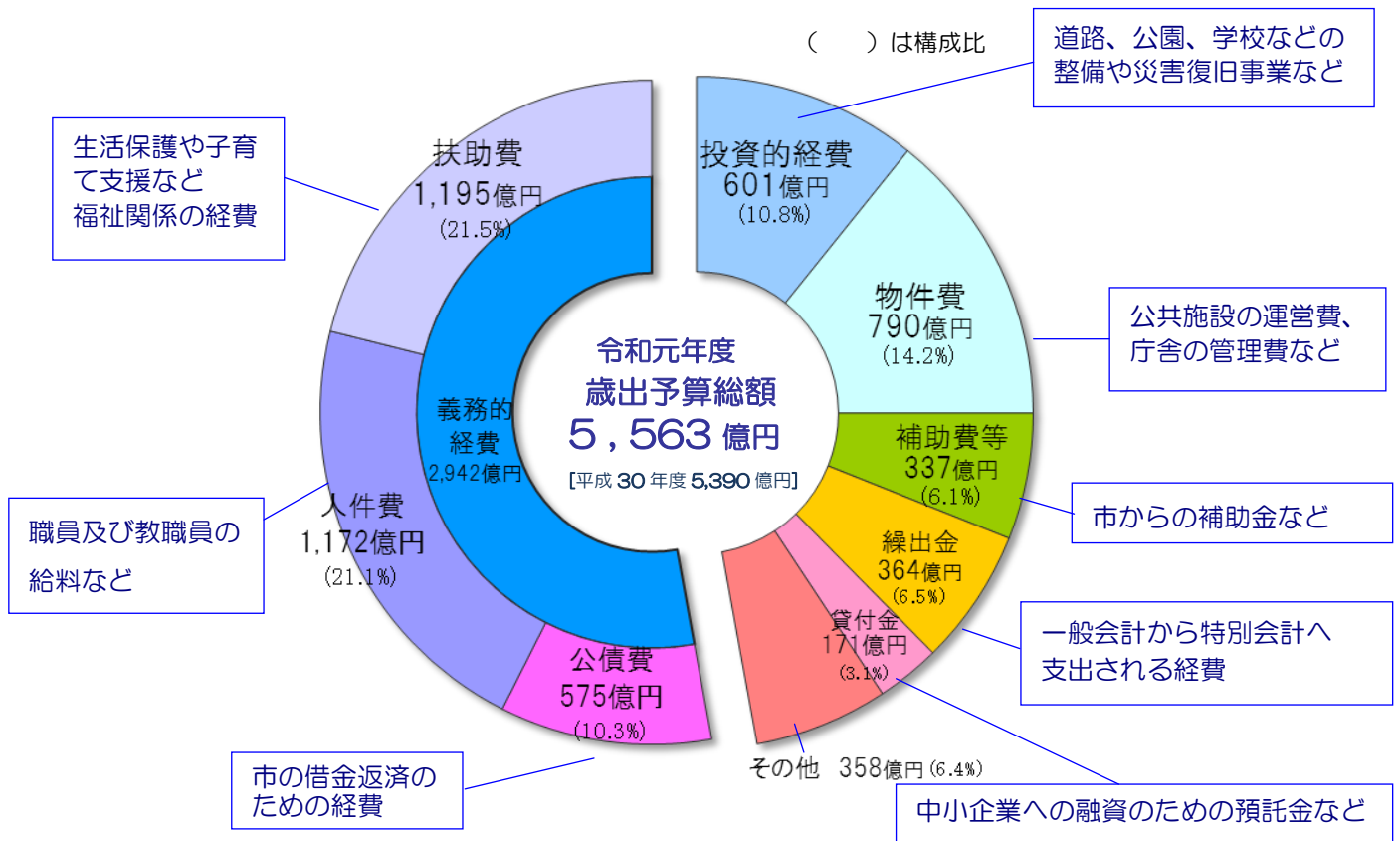
健康福祉費

幼児教育無償化などにより、前年度から 83 億円増加しています。 [H30 年度 1,917 億円]

土木費

東部復興道路整備費の減少などにより、前年度から 128 億円減少しています。 [H30 年度 759 億円]

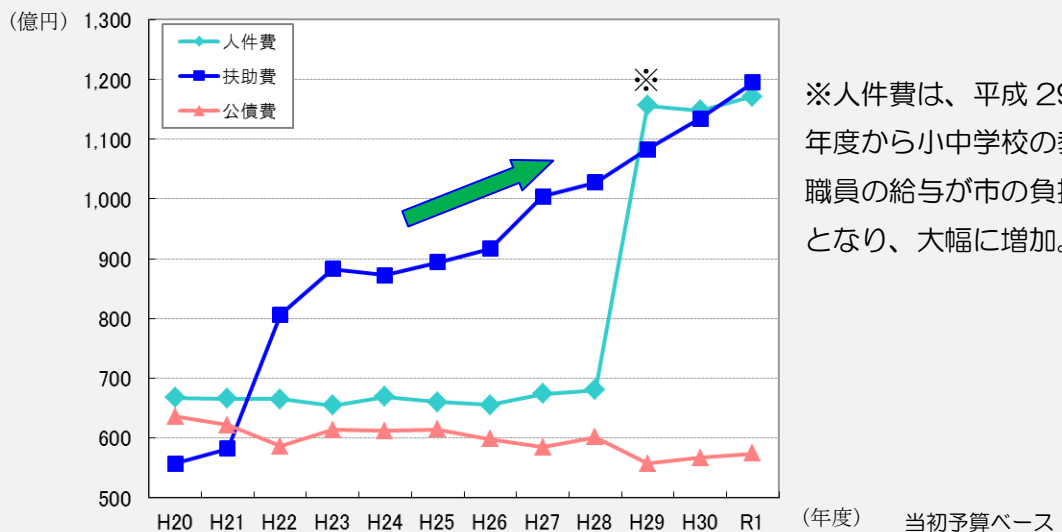
性質別歳出



グラフの左側部分にあたる人件費・扶助費・公債費を「義務的経費」といいます。これらは任意に削減することができない経費であり、この割合が大きくなると、新しい事業に使える経費が少なくなります。

義務的経費の推移は？

令和元年度予算における義務的経費の総額は 2,942 億円で、前年度から 92 億円増加しました。下のグラフを見ると、特に扶助費が年々増えていることが分かります。令和元年度の扶助費は、前年度から 60 億円増加しています。



4. 仙台市の財政状況

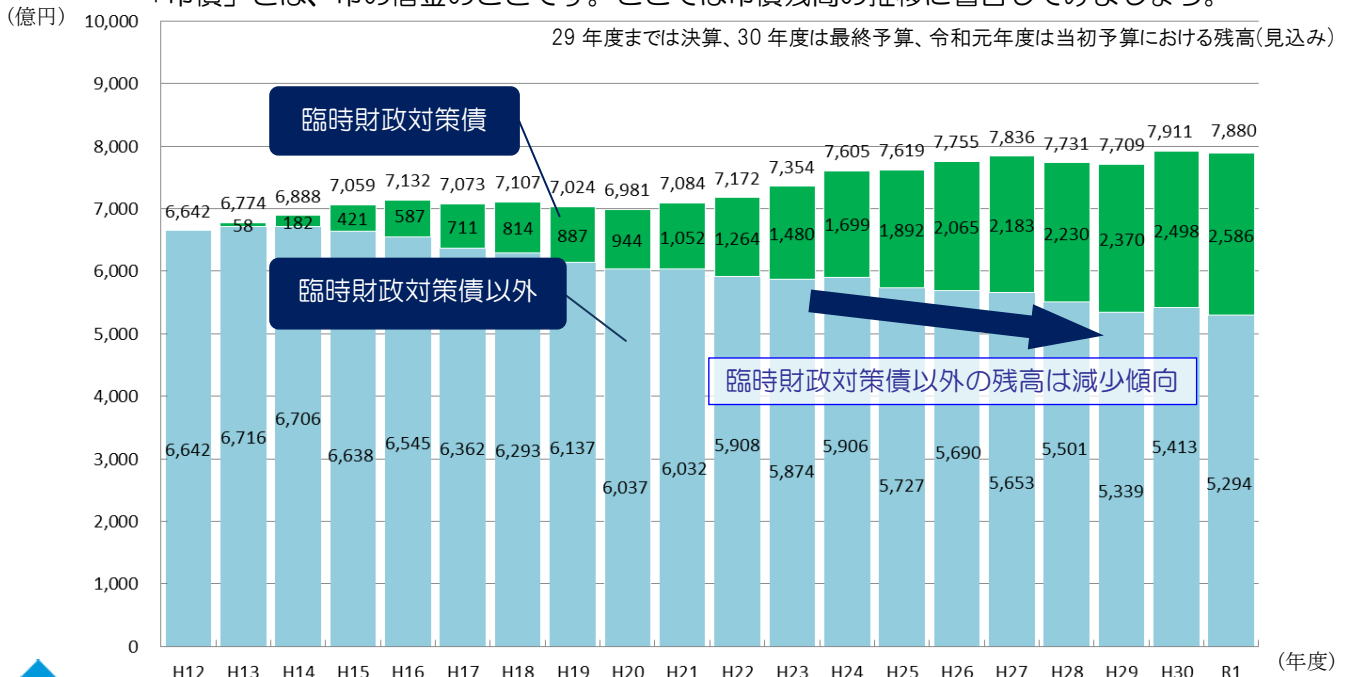
仙台市の財政状況ってどうなの？

ここまでは、一般会計の予算額について見てきました。

ここからは、財政状況を判断する手がかりとなる、市債や基金の残高を見ていきましょう。

市債

「市債」とは、市の借金のことです。ここでは市債残高の推移に着目してみましょう。



仙台市の市債残高（※1 普通会計）は、令和元年度末で 7,880 億円となる見込みです。

「臨時財政対策債」※2 の残高が増加する一方で、それ以外の市債残高については、行財政改革の効果などにより着実に減少しています。

※1 他都市との比較がしやすいように、一般会計・特別会計を全国一律の基準で組み替えた会計を「普通会計」といいます。

※2 「臨時財政対策債」ってなに？

「臨時財政対策債」とは、地方交付税の原資となる国税収入が不足していることから、その不足を埋める対策の一つとして、国から本来交付されるべき地方交付税の代わりに、地方が発行する特別な市債です。仙台市では、近年、本来交付されるべき地方交付税の半分以上が臨時財政対策債に振り替えられています。この市債の返済に必要な額は、全額が後年度に地方交付税等として手当てされます。

そもそもどうして市債を発行するの？

市債は主に、道路や学校など、将来にわたって長く利用される施設の建設費、整備費用に充てられています。市債を発行して返済を後の年度にも分けて行うことで、施設を利用する将来の世代の方にも、建設費用を公平に負担していただくことができます。

基金

「基金」とは、家計の貯金にあたるものです。

基金には、年度間で予算の財源の調整を行う「**財政調整基金**」のほか、特定の目的に使うために積み立てている基金などがあります。

令和元年度末での基金残高見込み（令和元年度当初予算時点）

一般会計	2,069 億円	特別会計	245 億円
・ 財政調整基金	13 億円	国民健康保険や介護保険の 財源調整を行う基金など	※企業会計には、基金がありません など
・ 市債管理基金	1,123 億円		
・ 高速鉄道建設基金	577 億円		
・ 市庁舎整備基金	122 億円		
・ 東日本大震災復興交付金基金	69 億円		
・ 震災復興基金	63 億円		

それぞれの基金ってどんなもの？

市債管理基金

市債の返済に必要な資金を計画的に積み立てている基金

高速鉄道建設基金

地下鉄建設等のために発行した市債の返済に備えて積み立てている基金

市庁舎整備基金

本庁舎建替など市庁舎の整備を図るために積み立てている基金

東日本大震災復興交付金基金

復興交付金事業等に必要な資金を積み立てている基金

震災復興基金

東日本大震災からの復興に関する事業の推進を図るため積み立てている基金

5. 財政見通しと行財政改革

これからの仙台市の財政はどうなるの？

仙台市の財政状況について、これからの見通しを説明します。



今後の財政見通し

今後の財政見通しについては、国における地方交付税の今後の取り扱いや税制改正の動向など、不確定な要素もありますが、一定条件に基づき試算した令和4年度までの財政見通しをご説明します。

今後の収入と支出(普通会計)の見通し			(単位 億円)		
		令和元年度	2年度	3年度	4年度
収入	市 税	2,189	2,195	2,220	2,247
	地方交付税	213	149	126	121
	国・県支出金	1,168	1,182	1,172	1,196
	市 債	503	498	520	543
	そ の 他	1,460	1,130	1,205	1,120
	合 計	5,533	5,154	5,243	5,227
支出	人 件 費	1,172	1,177	1,187	1,195
	扶 助 費	1,171	1,237	1,248	1,261
	公 債 費	598	595	621	628
	普通建設事業費	627	599	596	652
	そ の 他	1,965	1,784	1,862	1,780
	合 計	5,533	5,392	5,514	5,516
収 支 差			△ 238	△ 271	△289

※普通会計で試算しているため、P1~4の令和元年度予算額とは金額が異なります。



収 入 | 市税収入は堅調に推移する一方、地方交付税は市税収入等の推移と連動して減少する見通しです。その他の財源については、普通建設事業の進捗などに連動して推移する見通しです。

支 出 | 復興事業の進捗により減少する要素がある一方、高まる保育需要や高齢化の更なる進展等により社会保障費や、インフラを含む公共施設の長寿命化対策及び更新に係る経費が確実に増加していく見込みです。

収支差 | 収支差に対応する財源対策は限りがあるため、将来を見通した財政基盤の強化が重要となっています。



主な収入の見通し

市 税	市税収入は、個人市民税や固定資産税が増加する一方で、税制改正に伴う税率引下げによる法人市民税の減少等の要素がありますが、全体としては堅調に推移する見通しです。
地方交付税	普通交付税は、市税収入等の推移と連動して減少する見通しです。また、震災復興特別交付税についても、事業の進捗に伴い減少する見通しです。
市 債	公共施設の老朽化対応を含む普通建設事業の進捗等と連動して推移していく見通しです。



主な支出の見通し

人 件 費	退職者の増減に伴う変動もあり、横ばいからやや増加傾向となる見通しです。
扶 助 費	高まる保育需要や高齢化の更なる進展のほか、障害者福祉施策にかかる対象者の増加等に伴い増加していく見通しです。
公 債 費	東西線建設事業に係る市債償還の本格化や臨時財政対策債の償還、震災以前の普通建設事業の抑制傾向といった要素と連動して推移する見通しです。
普通建設事業費	東部復興道路整備や蒲生北部土地区画整理等の進捗と連動して復興事業が減少していく一方で、公共施設の長寿命化対策や更新を計画的に進めていくことで、震災前をやや上回る水準で推移する見通しです。
繰 出 金	国民健康保険事業、介護保険事業、後期高齢者医療事業等に要する費用は、高齢化の進展や医療費の増加等により増加していく見通しです。



今後の財政運営

財政構造の硬直化が進行しているという現状も踏まえ、長期的な視点をより一層重視し、地域経済活性化策による税源涵養や市税や保険料等にかかる債権管理の適正化と更なる収入率・収納率の向上を図っていくほか、公共施設の老朽化への対応のための長期的な財源確保策や事業費の更なる平準化、コスト縮減に努めるなど、歳入歳出両面におけるあらゆる取組みを講じていくことが重要です。

行財政改革の取組み

多様化する市の課題に対応し、将来にわたり市民の皆様には行政サービスを提供していくためには、しっかりとした行財政運営基盤が必要です。そのため、仙台市では、平成7年以降、継続的に行財政改革計画を策定し、効率的な行財政運営に取り組んでいます。平成31年4月には「仙台市役所経営プラン」を策定しました。

具体的にどんなことに取り組むの？

「仙台市役所経営プラン」(計画期間＝令和4年度当初まで)における取組みの一部を紹介します。

<p>公共施設マネジメントの推進</p>	<p>平成26年3月に策定した「仙台市公共施設総合マネジメントプラン」に基づき、公共施設を効果的・効率的に活用し、必要なサービスを持続的に提供するための取組みを行います。</p>
<p>市有建築物やインフラ系施設の長寿命化の推進</p>	<p>学校や市民活動の拠点となる施設については、改修の優先順位を定めた上で、順次改修を進めます。</p> <p>大規模かつ特殊性を有する施設については、それぞれ財政負担水準を把握し、年次調整の上で、改修を進めます。</p> <p>道路や公園などをはじめとするインフラ系施設について、それぞれの分野ごとに、長寿命化等に向けた取組方策を検討・整理し、推進します。</p>
<p>市有地などの市有財産の処分や有効活用の推進</p>	<p>公共施設の用途廃止や都市計画道路等の見直しにより公共用途での利用見込みがなくなった土地について、売却や貸付による収入の確保に努めます。</p>
<p>市税や保険料などの収入率・収納率の向上</p>	<p>市税、保険料について、市民の利便性向上を図りつつ、将来にわたる安定的な収入の確保に努めます。</p> <p>また、組織横断的な取組みにより滞納整理に関するノウハウの共有を図るなど、より効果的・効率的な徴収対策に努め、収入率・収納率の向上に取り組めます。</p>
<p>民間活力の導入などによる行財政運営の効率化</p>	<p>保育所の民営化や、収入率・収納率向上に向けたBPO※の活用など、民間活力の導入により行財政運営のさらなる効率化に向けた取組みを進めます。</p> <p>※BPO・・・ビジネス・プロセス・アウトソーシング。組織運営上の業務やビジネスプロセスを専門企業に外部委託すること。</p>

これらをはじめとした計画全体の平成28年度当初から6年間の取組みの効果として、約280億円を見込んでいます。

コラム：令和元年度予算を家計に例えると？

仙台市と家庭では、金額やお金の使い道に大きな違いがあるため、単純に比較はできませんが、令和元年度の一般会計の予算を年収 400 万円（一か月あたり 33 万 3 千円）とした場合の家計に例えてみました。

仙台市の1カ月の家計簿

収入		支出	
・給料	23万5千円	・食費(人件費)	7万円
基本給(市税)	13万1千円	・医療費(扶助費)	7万2千円
諸手当(地方交付税、国県支出金など)	10万4千円	・住宅ローンの返済(公債費)	3万4千円
・アルバイト収入		・光熱水費、日用品費	
(使用料・手数料、財産収入など)	3万8千円	(物件費など)	4万8千円
・金融機関からの借金(市債)	3万円	・家電の買替え、家の修繕	
・貯金の取り崩し(繰入金)	3万円	(投資的経費・維持補修費)	4万2千円
		・子どもへの仕送り	
		(繰出金・貸付金など)	6万7千円
合 計	33万3千円	合 計	33万3千円



収入	支出
<p>給料は全体の 70.6%を占めており、平成 30 年度から増減していませんが、それだけでは全ての支出を賄うことができない状況です。</p> <p>不足額を補うために、貯金を取り崩したり、借金をしたりしています。</p>	<p>医療費が 21.6%、次いで食費が全体の 21.0%を占めており、高い割合となっています。</p> <p>食費、医療費、住宅ローンの返済は義務的な支出であり、これらの合計が全体の 52.9%を占めています。</p>

Part2.資料編では、地方自治法第243条の3及び地方公営企業法第40条の2の規定のほか、各法に関連する市の条例の規定に基づき、財政状況等を公表します。

仙台市の財政状況についてさらに詳しく知りたい方は、仙台市のホームページをご覧ください。

<https://www.city.sendai.jp/shikin/shise/zaise/zaimu/zaise/sendaiishi/index.html>

1. 令和元年度特別会計の主な事業計画

■ 都市改造事業特別会計

(仙台市が施行する土地区画整理事業の会計)

- ・蒲生北部地区の被災市街地復興土地区画整理事業を行い、都市基盤の再整備と防災集団移転促進事業移転跡地等の整理・集約（建物等移転補償、道路・下水道等造成工事、宅地造成工事）を行います。

■ 国民健康保険事業特別会計

(自営業者の方などが加入している国民健康保険の会計)

- ・平成 30 年 4 月から、国民健康保険制度の安定化を図るため、都道府県が財政運営の責任主体となり、市町村とともに国民健康保険事業を運営しています。
- ・被保険者の医療費の支払い等に必要な費用として 626 億円を見込んでおり、財源は県からの交付金で賄われます。
- ・医療費水準や所得額等に応じて県から示される国民健康保険事業費納付金の支払いに 253 億円を見込んでいます。

■ 中央卸売市場事業特別会計

(水産物、青果物、花き及び食肉を取り扱う市場の会計)

- ・本場運営・改修に 13 億円、食肉市場運営・改修に 12 億円を計上しています。
- ・生鮮食料品などの安全・安定供給のために、青果棟床改修や自動火災報知設備改修等を進め、花き市場高圧受電設備の改修等も併せて行っていきます。
- ・食肉の品質保持や衛生管理に必要な冷凍機設備の改修や、汚水処理施設の改築等を行います。

■ 公共用地先行取得事業特別会計

(事業を計画的に行うために、計画決定された道路用地などをあらかじめ取得するための会計)

- ・道路整備の事業化などに伴い、先行取得した用地を売り払います。

■ 駐車場事業特別会計

(仙台市が設置する二日町、勾当台公園地下及び泉中央駅前の駐車場の会計)

- ・二日町、勾当台公園地下及び泉中央駅前の市営駐車場の運営管理を行います。

■ 公債管理特別会計

（仙台市の借入金である市債の元金や利子などの支払を行うための会計）

- 一般会計と特別会計の公債費を一括して経理するために設置しています。
- 令和元年度の支出内訳は、元金支払が 934 億円、利子支払が 66 億円、将来の元金支払のための積立金が 273 億円、手数料等が 3 億円です。

■ 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計

（母子・父子世帯や寡婦の方に対する福祉資金貸付の会計）

- 貸付見込みの件数と金額は、母子福祉資金は 162 件で 6,206 万円、父子福祉資金は 8 件で 310 万円、寡婦福祉資金は 5 件で 231 万円です。

■ 新墓園事業特別会計

（長期的、安定的に市民の墓地を確保するため、新たな墓園を整備し、運営管理を行うための会計）

- 仙台市いずみ墓園において、個別集合墓所区画割工事及び第 2 期 2 工区造成工事を行います。
- 貸出募集については、春と秋の年 2 回を予定しています。

■ 介護保険事業特別会計

（65 歳以上の方と、40 歳以上 65 歳未満で特定の病気により介護が必要と認められた方を対象に介護サービスを行う介護保険制度の会計）

- 介護サービスに要する保険給付費は、688 億円を見込んでいます。
- 介護予防・日常生活支援総合事業や地域包括支援センター（52 カ所）運営などの地域支援事業を行います。
- 区役所などで、要介護認定事務及び介護保険制度や手続きの広報などを行います。

■ 後期高齢者医療事業特別会計

（75 歳以上の方と、65 歳以上 75 歳未満で一定の障害のある方が加入する後期高齢者医療制度を運営する宮城県後期高齢者医療広域連合への保険料などを管理する会計）

- 市内の被保険者にご負担いただく保険料として 97 億円を見込んでいます。
- 運営主体は広域連合ですが、窓口業務は本市で行い、印刷や郵送費等の事務費として 2 億円を見込んでいます。
- 所得の少ない方の保険料負担を軽減するために 16 億円の支出を見込んでいます。

2. 令和元年度企業会計の主な事業計画

下水道事業会計（下水道の整備・維持管理を行う会計）

- ・大規模地震の発生時における被害を軽減するため、第3南蒲生幹線の整備や施設の耐震化工事などを行います。
- ・市街地や高い浸水リスクを持つ地域における浸水被害を軽減するため、雨水排水施設の整備を進めます。

令和元年度業務予定量

- ・汚水処理戸数 51万800戸
- ・年間総汚水
処理水量 1億3,564万^m
- ・一日平均汚水
処理水量 37万^m

自動車運送事業会計（バス事業の会計）

- ・バリアフリー化への取り組みや環境対策として、低公害ノンステップバスの導入を進めます。
- ・バス待ち環境の向上への取り組みとして、バス停留所上屋の設置・修繕や、電照式バス停留所等の整備を進めます。

令和元年度業務予定量

- ・車両数 480両
- ・年間走行km 1,698万km
- ・年間総輸送人員 3,840万人



高速鉄道事業会計（地下鉄事業の会計）

- ・安全な列車運行の確保のため、高圧受電設備の更新等を進めます。
- ・バリアフリー化への取り組みとして、駅構内における非常用警報装置等の誘導・案内設備の整備、駅トイレ入口の段差解消やオストメイト用設備を備えた車椅子対応トイレの増設等を順次進めます。
- ・利便性向上の取り組みとして、勾当台公園駅における昇降機設備を増設します。

令和元年度業務予定量

- ・車両数 144両
- ・年間走行km 1,262万km
- ・年間総輸送人員 9,320万人



水道事業会計（上水道事業の会計）

- ・災害時でも安定した給水が行えるよう、管路や施設の更新・耐震化や、単独配水区域の解消を進めます。
- ・災害対応力の強化のため、災害時給水施設の設置拡大や長期停電対策を推進します。
- ・安全においしく飲める水をお届けするために、水質検査や水源の巡回等を行います。
- ・令和2年度から10年間の運営方針を示す次期水道事業基本計画を策定します。

令和元年度業務予定量

- ・使用給水栓数 46万4,000栓
- ・年間総配水量 1億1,995万 m^3
- ・一日平均配水量 32万7,720 m^3



ガス事業会計（都市ガスなどの供給事業の会計）

- ・保安供給面では、経年管の入替えを着実に進めるとともに、製造・供給設備の計画的な更新及び適正な維持管理に努めます。
- ・営業面では、お客さまの他エネルギーへの離脱防止対策を推進するとともに、新規物件への都市ガス採用の拡大に向けた取組みに注力し、販売量の拡大に努めます。

令和元年度業務予定量

- ・供給戸数 34万4,565戸
 - 一般ガス事業 34万3,049戸
 - 附帯事業（プロパン） 1,516戸
- ・年間供給量（※）
 - 一般ガス事業 2億8,484万 m^3
 - 附帯事業（プロパン） 20万9千 m^3
- ・一日平均供給量（※）
 - 一般ガス事業 77万8千 m^3
 - 附帯事業（プロパン） 571 m^3



※一般ガス事業は熱量 45 メガジュール/ m^3

附帯事業（プロパン）は熱量 100.4652 メガジュール/ m^3

病院事業会計（市立病院の会計）

- 仙台医療圏の中核病院として質の高い医療の提供に努めるとともに、救命救急医療、小児救急医療、身体合併症精神科救急医療、周産期医療をはじめとする政策的医療の提供に注力いたします。
- 国における地域包括ケア体制の構築に向けた医療機能の分化・強化、連携の推進という動きを踏まえながら、市民から「選ばれる病院」、救急隊や地域の医療機関から「頼りにされる病院」、そして職員が「働きやすい病院」の実現を目指します。



令和元年度業務予定量

• 病床数	525床
うち一般病床	467床
精神病床	50床
感染症病床	8床
• 予定年間患者数	38万3,700人
うち入院	15万3,700人
外来	23万人

3. 平成30年度末現在の財政状況（平成31年3月31日現在）

ここからは、平成30年度予算の執行状況や財産の状況などについてお知らせします。
 なお、出納整理期間※が設けられているため、平成30年度決算の状況については、別途お知らせします。

※ 年度末（3月31日）までに支払いや受け入れの原因が生じた場合、原則としてその年度の収支として取り扱うこととなりますが、実際の支払いや受け入れの手続きについて一定の整理期間が必要であることから設けられているもので、具体的には翌年度の5月31日までと定められています。

（1）予算の執行状況

- ① 一般会計 平成30年度の予算現額(30年度予算と29年度からの繰越予算を合計した額)は約5,556億円です。予算の執行率は歳入が81.3%、歳出が68.3%です。

歳入予算の項目別執行状況

(単位 億円)

科目	予算現額	収入済額	収入済割合
市 税	2,125	2,000	94.1%
国庫支出金	845	758	89.8%
市 債	720	357	49.6%
繰 入 金	336	0	0%
諸 収 入	276	225	81.6%
地方交付税	257	264	102.7%
そ の 他	997	911	91.4%
合 計	5,556	4,515	81.3%

※収入済割合は、円単位で計算した場合の割合としています。

歳出予算の項目別執行状況

(単位 億円)

科目	予算現額	支出済額	支出済割合
健康福祉費	1,914	1,617	84.5%
教 育 費	1,067	777	72.8%
土 木 費	808	524	64.8%
公 債 費	567	0	0%
総 務 費	351	186	53.1%
経 済 費	208	175	84.2%
そ の 他	641	513	79.9%
合 計	5,556	3,792	68.3%

※支出済割合は、円単位で計算した場合の割合としています。

※公債費の支出済割合が0%となっているのは、市債の元利償還を一括管理している公債管理特別会計への繰出処理を出納整理期間中に行うためです。

② 特別会計

平成30年度末予算執行状況

(単位 億円)

会計名	予算現額	収入済額	収入済割合	支出済額	支出済割合
都市改造事業	83	24	29.3%	35	42.7%
国民健康保険事業	949	830	87.4%	866	91.2%
中央卸売市場事業	31	22	70.8%	19	60.0%
公共用地先行取得事業	18	8	43.8%	17	96.8%
駐車場事業	3	2	81.2%	1	30.5%
公債管理	1,116	309	27.7%	827	74.1%
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	2	2	89.0%	1	34.7%
新墓園事業	11	5	47.2%	4	32.5%
介護保険事業	763	624	81.8%	651	85.4%
後期高齢者医療事業	115	106	91.9%	108	94.2%
合計	3,091	1,932	62.5%	2,529	81.8%

※収入済割合及び支出済割合は、円単位で計算した場合の割合としています。

③ 企業会計

平成30年度末予算執行状況

(単位 億円)

会計名		収益的			資本的		
		予算現額	執行済額	執行率	予算現額	執行済額	執行率
下水道事業	収入	380	371	97.7%	390	223	57.1%
	支出	363	345	95.1%	520	356	68.4%
自動車運送事業	収入	104	104	100.1%	13	12	92.3%
	支出	109	105	96.2%	18	17	92.7%
高速鉄道事業	収入	250	248	99.3%	45	38	86.5%
	支出	269	264	98.0%	112	106	94.9%
水道事業	収入	299	301	100.6%	87	54	62.1%
	支出	273	256	93.7%	196	151	77.2%
ガス事業	収入	394	387	98.2%	43	16	36.3%
	支出	371	352	94.9%	90	73	81.0%
病院事業	収入	166	168	101.2%	11	10	89.2%
	支出	185	182	98.9%	18	16	91.2%
合計	収入	1,593	1,579	99.1%	589	353	59.9%
	支出	1,570	1,504	95.8%	954	719	75.4%

※執行率は、円単位で計算した場合の割合としています。

※消費税等込みの金額となっています。

(2) 市債、市有財産、基金などの状況

平成30年度決算の状況については、別途お知らせします。

① 市債の状況

会計別市債現在高

(単位 千円)

会計名	現在高	借入先				
		財務省	独立行政法人 郵便貯金・ 簡易生命保 険管理機構	地方公共団体 金融機構	市場公募債	市中銀行等
一般会計	839,396,880	186,866,122	7,458,351	70,820,723	449,127,962	125,123,722
特別会計	37,444,114	2,450,328	45,341	6,976,326	19,622,038	8,350,081
都市改造事業	19,251,099	413,866	45,341	761,664	14,127,238	3,902,990
中央卸売市場事業	10,822,424	2,036,462	0	6,214,662	44,000	2,527,300
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	593,831	0	0	0	0	593,831
新墓園事業	6,776,760	0	0	0	5,450,800	1,325,960
企業会計	454,392,719	130,234,682	37,657,658	191,027,019	0	95,473,360
下水道事業	194,319,102	37,250,869	36,941,648	70,959,020	0	49,167,565
自動車運送事業	2,995,929	146,167	11,294	241,218	0	2,597,250
高速鉄道事業	131,106,639	17,007,579	704,716	79,624,298	0	33,770,046
水道事業	65,156,716	36,929,725	0	23,019,825	0	5,207,166
ガス事業	37,526,147	23,388,258	0	13,887,889	0	250,000
病院事業	23,288,186	15,512,084	0	3,294,769	0	4,481,333
合計	1,331,233,713	319,551,132	45,161,350	268,824,068	468,750,000	228,947,163

一般会計のうち目的別内訳

(単位 千円)

区分	現在高	区分	現在高
総務債	7,547,180	高速鉄道事業債	108,900,662
市民債	34,311,860	水道事業債	2,801,243
健康福祉債	41,202,529	災害復旧債	2,822,762
環境債	7,705,531	減税補てん債	30,987,000
経済債	3,898,865	臨時税収補てん債	263,000
土木債	246,604,284	臨時財政対策債	269,814,078
消防債	13,849,155	減収補てん債	5,715,110
教育債	62,973,621		
		合計	839,396,880

② 市有財産、基金の状況

一般会計と特別会計の財産

(単位 千円)

	単位	行政財産※ ¹		普通財産※ ⁴	合 計
		公用財産※ ²	公共用財産※ ³		
土地	m ²	2,005,347	32,735,335	14,810,541	49,551,223
建物	m ²	363,042	3,127,683	76,587	3,567,312
山林（市有林）	m ²		3,326,535	17,892,760	21,219,295
立木	m ³		59,685	393,294	452,979
物権	m ²		35,984	8,060	44,044
動産	機		2	0	2
無体財産権	件		24	0	24
有価証券	千円			154,879	154,879
出資による権利	千円			9,983,397	9,983,397
物品	千円			21,433,456	21,433,456
債権	千円			21,117,342	21,117,342
基金※ ⁵	千円			280,517,841	280,517,841

注) 土地のうち、行政財産の3,326,535m²と普通財産の12,886,459m²は山林（市有林）と重複しています。また、立木は推定蓄積量です。

※1 行政財産 | 市が所有している財産で、行政目的に利用されているものや、利用されることが決定されたもので、公用財産と公共用財産に分けられます。

※2 公用財産 | 庁舎など、市が事務を行うために直接使用することを本来の目的とする財産です。

※3 公共用財産 | 公園、学校など、市民の皆さんが利用することを本来の目的とする財産です。

※4 普通財産 | 行政財産以外の財産です。直接特定の行政目的に使われるものではなく、一般私人と同等の立場で所有し、貸付などによる収益は市の財産収入となるものです。

※5 基金 | 財政の健全な運営や特定の目的のため財産を維持し、資金を積み立て、又は定額の資金を運用するために設けられる資金又は財産です。本市の場合、15の基金が設置されています。

(15の基金：財政調整基金、市債管理基金、高速鉄道建設基金、百年の杜づくり推進基金、環境保全基金、福祉基金、文化振興基金、仙台城史跡整備基金、震災復興基金、東日本大震災復興交付金基金、公共施設保全整備基金、中小企業活性化基金、土地開発基金、国民健康保険事業財政調整基金、介護保険事業財政調整基金)

企業会計の財産

(単位 千円)

	下水道事業	自動車運送事業	高速鉄道事業	水道事業	ガス事業	病院事業	合計
土地	20,095,036	2,844,084	14,023,655	8,597,129	8,702,850	9,170,830	63,433,584
土地面積 (㎡)	2,066,156	125,675	245,286	2,388,848	284,616	35,018	5,145,599
建物	28,899,524	983,498	39,352,868	6,489,224	2,883,450	15,671,099	94,279,663
建物面積 (㎡)	122,432	14,318	242,745	72,867	38,794	55,800	546,956
構築物	475,144,860	204,649	192,047,012	138,491,962	28,213,702	316,026	834,418,211
未竣工施設 建設仮勘定	30,720,252	157,467	578,215	5,232,916	537,170	0	37,226,020
車両運搬具	12,635	825,590	7,262,793	63,906	78,259	416	8,243,599
機械及び装置	56,276,758	65,500	7,878,876	12,204,751	5,486,228	2,043,304	83,955,417
器具工具備品	40,326	498,814	157,767	357,741	42,834	0	1,097,482
リース資産	0	0	0	248,489	19,936	0	268,425
長期貸付金等	0	0	0	0	0	0	0
出資による権利	27,000	28,736	93,285	69,500	141,897	0	360,418
無形固定資産	3,523,759	16,998	1,367,838	6,112,624	821,032	183,478	12,025,729
合計 (千円)	614,740,150	5,625,336	262,762,309	177,868,242	46,927,358	27,385,153	1,135,308,548

注) 財産のうち、建物、構築物、車両運搬具、機械及び装置、器具工具備品、リース資産、無形固定資産については、減価償却後の金額です。

③ 一時借入金状況

(単位 千円)

会計名		現在高
一般会計		0
特別会計		0
企業会計		0
内訳	下水道事業	0
	自動車運送事業	0
	高速鉄道事業	0
	水道事業	0
	ガス事業	0
	病院事業	0
合計		0

※一時借入金は、支払い資金の不足を臨時的に補うために、その年度内で償還する条件で借り入れるものです。

[寄附のお願い]

仙台ふるさと応援寄附

仙台ふるさと応援寄附



平成28年4月1日、「杜の都・仙台絆寄附」が「仙台ふるさと応援寄附」へ生まれ変わりました。

仙台市は、復興の次のステージに向けて確実に歩みを進め、希望ある未来を創るため、人々の夢や意欲を育み、躍動し続けるまちづくりに取り組んでいきます。

皆様の寄附による仙台市への応援をよろしくお願いいたします。

● 寄附金の使いみち

皆様からお寄せいただいた寄附金は、次の事業に活用させていただきます。
なお、お申し込みの際、寄附金の使いみちをお選びいただけます。

<input type="checkbox"/> 震災復興	<input type="checkbox"/> 防災・減災施策の充実	<input type="checkbox"/> ふるさとの杜再生	<input type="checkbox"/> 震災遺構・メモリアル施設運営
<input type="checkbox"/> 楽都仙台推進(音楽文化の振興)	<input type="checkbox"/> 文化芸術振興	<input type="checkbox"/> 仙台のお祭り応援	<input type="checkbox"/> 子育て支援
<input type="checkbox"/> 学校まなび応援	<input type="checkbox"/> 学び・文化財・ミュージアム事業 応援	<input type="checkbox"/> 障害者施策推進	<input type="checkbox"/> 高齢者施策推進
<input type="checkbox"/> 保健福祉推進	<input type="checkbox"/> ふるさと農業振興事業	<input type="checkbox"/> 社会起業支援	<input type="checkbox"/> 奨学金返還支援
<input type="checkbox"/> 百年の杜づくり推進基金	<input type="checkbox"/> 八木山動物公園 オフィシャルサポーター	<input type="checkbox"/> 街路樹・公園遊具管理	<input type="checkbox"/> 環境保全
<input type="checkbox"/> 自転車安全利用促進	<input type="checkbox"/> 動物愛護の推進	<input type="checkbox"/> 仙台国際ハーフマラソン大会応援	<input type="checkbox"/> スポーツ振興
<input type="checkbox"/> 協働によるまちづくりの推進	<input type="checkbox"/> 仙台まるごと応援	※ご指定がない場合は「仙台まるごと応援」に活用させていただきます。	

● 寄附された方と寄附金活用状況のご紹介

公表について承諾をいただいた方のお名前や、寄附金の活用状況などを仙台市ホームページで紹介しております。

● 税制面の優遇

○ 事業者の方

申告により、寄附金の全額が法人税の損金扱いとなります。

○ 個人の方

寄附（ふるさと納税）について確定申告をしていただくと、住民税と所得税から寄附金の2,000円を超える部分が一定限度控除されます。

一定の給与所得者等（寄附金の控除以外に申告すべき事項が無い方）は、ワンストップ特例申請により、税の申告を行わなくても寄附金の控除を受けられる「ふるさと納税ワンストップ特例制度」をご利用いただけます。

※税の申告をする方、ふるさと納税先が5団体を超える場合はこの制度の対象とはなりません。

● 寄附のお申し込み

ホームページ「ふるさとチョイス」からお申し込みいただけます。

申請書による場合は、ファックス、郵送、電子メール、持参のいずれかの方法により、仙台市役所財政局財政企画課までお申し込みください。

● 問合せ先

○ 仙台市への寄附に関すること：財政局財政企画課 電話：022-214-8111

○ 税の控除に関すること：お住まいの市区町村の税務担当課にお問い合わせください。
(仙台市にお住まいの方：財政局市民税課 電話：022-214-8637、8638)

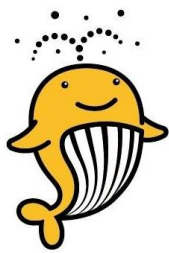
寄附の詳細につきましては、ホームページをご覧ください。

仙台ふるさと応援寄附

検索

<https://www.city.sendai.jp/zaiseikikaku-somu/shise/zaise/zaimu/zaise/sendaiishi/oenkifu/index.html>

仙台市 宝くじ情報



みなさん
宝くじは
仙台市内で
買ってね。



宝くじのイメージキャラクター
「クーちゃん」

宝くじは、**宮城県内**でお買い求めください!!

宮城県内で販売された宝くじの売上の一部は、仙台市の収入となっており、道路や、児童館の整備、芸術文化振興事業などの貴重な財源として活用しています。

宝くじは夢を持つことができるとともに、市民の皆様のよりよい生活のために大変役立つものなのです。

宝くじの情報は仙台市ホームページからもご覧いただけます！

仙台市 宝くじ情報

検索

宝くじ公式サイトなら
いつでもどこでも宝くじが買える!



ジャンボ
宝くじも
買える!

宝くじ

[交通局からのお知らせ]

🚗 \ お出かけには**市バス・地下鉄**をご利用ください / 🚇

仙台市内の移動には、目的地のすぐ近くまで行ける**市バス**が便利！
地下鉄は、天候や渋滞の影響が少なく、所要時間がほぼ正確なので、お出かけの計画も立てやすい！

お得な運賃制度も色々ご用意していますので、お出かけには市バス・地下鉄をぜひご利用ください。



市バス

市バスと地下鉄を上手に乗りこなして 移動は「お得に、」時短で、

○経路・運賃・時刻表は



せんだい市バス・地下鉄ナビ

<http://www.navi.kotsu.city.sendai.jp/>

○バス待ちには

バスの接近情報をネットでお知らせ



<http://www.dokobasu.kotsu.city.sendai.jp>

○仙台名所巡りには

LOOPLE SENDAI
るーぷる仙台



<http://loople-sendai.jp/>



お乗りの際は

イクスカ

「icsca」をどうぞ



ICチップが埋め込まれたカード乗車券。事前に入金(チャージ)しておけば、地下鉄の改札機またはバスの運賃箱にタッチするだけで運賃が支払えます。

乗車回数や利用金額に応じてポイントも貯まります！

市バス・地下鉄のお得な運賃制度

○地下鉄 200 円均一

<https://www.city.sendai.jp/kokyo/kurashi/machi/kotsu/annai/200enkinnitu.html>

○東西線結節駅周辺バス 100 円均一

<https://www.city.sendai.jp/kokyo/kurashi/machi/kotsu/annai/kessetu.html>

【休日のお出かけなどに便利な一日乗車券】

○市バス一日乗車券 ○地下鉄一日乗車券

○るーぷる仙台・地下鉄共通 1 日乗車券

<https://www.kotsu.city.sendai.jp/fare/card.html>

【通学に加えて習い事などの利用路線も格安で購入できる通学定期券】

○学都仙台フリーパス

https://www.kotsu.city.sendai.jp/fare/freepass/hanbai_index.html



仙台市交通局

Transportation Bureau City of Sendai

お問い合わせ

交通局案内センター 022(222)2256

月～金/8:30～18:30、土・日・祝/8:30～17:00



交通局 HP